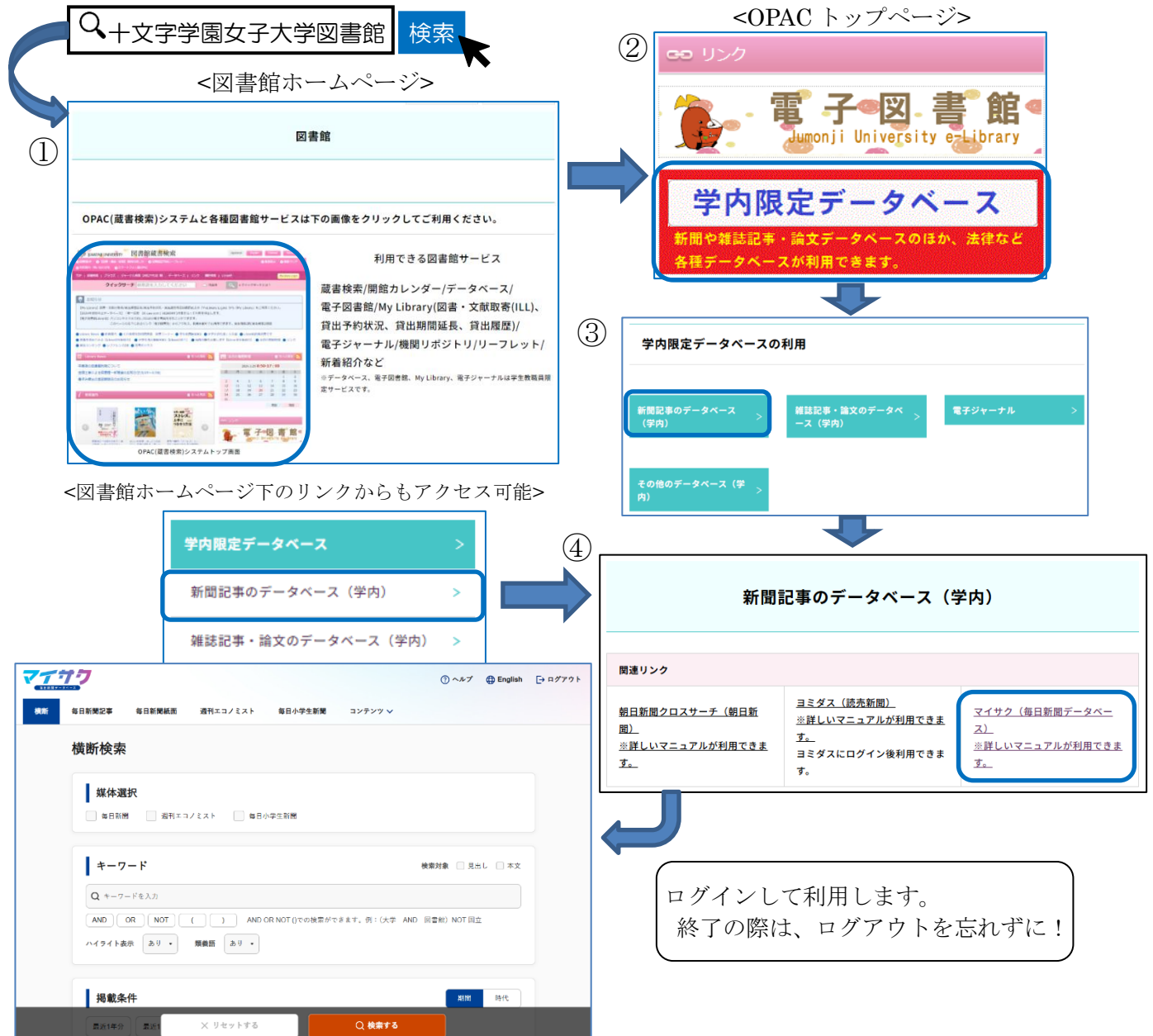


マイサク (毎日新聞データベース) で検索しよう 2026 Ver. 1

新聞は多くの情報が電子化されているために、データベースで本文中のキーワードで全文を検索することができます。図書館のホームページから学内のネットワークに接続しているパソコンならどこからでも検索できます。(同時アクセス数「1」)

毎日新聞の前身「東京日日新聞」1872年の創刊号から現在までの毎日新聞記事を収録しています。紙面検索は1872年3月29日～1999年12月31日まで検索できます。このほかに「紙面記事検索」「週刊エコノミスト」「毎日小学生新聞」、コンテンツでは英文ニュースサイド「The Mainichi」、戦後実施してきた世論調査結果のデータベース「毎日ヨロンサーチ」なども収録しています。



それでは、毎日新聞記事検索ではキーワードで「図書館 貸出」の記事
紙面記事検索では2000年の前日1999年12月31日の様子を新聞記事で見てください。

毎日新聞紙面で
1999年12月31日の新聞記事を
調べてみましょう。

1999年12月31日の新聞記事がサムネイル
画像で表示されました。

2026.01.09 地方版に「[国会図書館] 国会図書館デジタルコレクション 知りたい情報ピタリ検索 分野問わず「この本のここ」/東京」の記事がありました。

ここでさらに絞り込む
ことができます。

記事が表示されます。

紙面が表示されます。

「国会図書館」国会図書館デジタルコレクション 知りたい情報ピタリ検索 分野問わず「この本のここ」/東京

2026.01.09 毎日新聞 地方版/東京 15頁 (全1,310字)

国立国会図書館(千代田区) = 写真 = が蔵書のオンライン公開を始めてから25年余り。外国刊行物を除く所蔵資料の2割に当たる486万点が電子化され、デジタルコレクション(DC)に収録されている。OCR(光学式文字読み取り)の発達により、膨大な蔵書を全文検索し、知りたいことが、どの本の、どこに書かれているのが簡単に分かるようになった。さまざまな学術分野で研究の掘り下げに役立てられている。

「近代以降の文献を読むには最強のツール」。2032年完成予定の日本語大辞典第3版(小学館)の編集委員を務める青山学院大の近藤泰弘名誉教授(日本語学)はDCをこう評す。

用例調査で活用したケースに挙げたのは、食事前の「いただきます」というあいさつ。1930年代が最も古いとされているが、DC検索で、1891(明治24)年に刊行された子どものしつけに関する本までさがることが分かった。

江戸期以前にそうした用例がないことも確認。明治半ばに学校給食が始まり、こうした言い回しが使われるようになったと考えられるという。

DCを使えば、その言葉がいつごろから、どのくらい使われていたかをグラフにすることも可能。近藤さんは「辞典の収録語を決める上でも、DCは欠かせない」と言い切った。

